



第13回全日本ロープスキッピング選手権大会概要

全日本ロープスキッピング選手権大会は、日本ロープスキッピング連盟（JRSF）の主催する国内最大のロープスキッピングの大会とし、国際ロープスキッピング連盟（FISAC-IRSF）の定めるルールを基に、アジア・世界選手権大会への代表選考会などを行うと同時に、幅広いロープスキッピングの発展・普及に努める大会とする。なお、第13回全日本ロープスキッピング選手権大会は、第12回世界ロープスキッピング選手権大会（2018年7月末～8月初開催予定・開催地 中国 上海）の代表選手の選考を行う大会とする。

1 大会名

第13回全日本ロープスキッピング選手権大会（略称 13JC）

2 大会日時

平成29年12月16日（土）10:00～ ・17日（日）10:00～17:00（予定）

16日（土）個人戦計測種目・団体戦計測種目・団体戦フリースタイル

17日（日）個人戦フリースタイル

3 大会会場

「BumB 東京スポーツ文化館」

〒136-0081 東京都江東区夢の島 2-1-3

アクセス：東京メトロ有楽町線、JR京葉線、りんかい線 『新木場駅』下車、徒歩10分
都営バス「夢の島」バス停下車、徒歩5分

TEL：03-3521-7321

<http://www.ys-tokyobay.co.jp/>

4 主催

日本ロープスキッピング連盟（JRSF）

5 部門

本大会では以下の部門で個人戦は男女別、団体戦は性別を分けずに競技を行う。

年齢は大会当日ではなく、平成29年12月31日での年齢とする。

<個人戦>

- 7歳以下の部 : 2010（平成22）年1月1日～2011（平成23）年4月1日生まれ
- 8-10歳の部 : 2007（平成19）年1月1日～2009（平成21）年12月31日生まれ
- 11-13歳の部 : 2004（平成16）年1月1日～2006（平成18）年12月31日生まれ
- 14-18歳の部 : 1999（平成11）年1月1日～2003（平成15）年12月31日生まれ
- 19歳以上の部 : 1998（平成10）年以前生まれ

<団体戦>

- 7歳以下の部 : 2010（平成22）年1月1日～2011（平成23）年4月1日生まれ
- 8-10歳の部 : 2007（平成19）年1月1日～2009（平成21）年12月31日生まれ
- 11-13歳の部 : 2004（平成16）年1月1日～2006（平成18）年12月31日生まれ
- 14-18歳の部 : 1999（平成11）年1月1日～2003（平成15）年12月31日生まれ
- 19歳以上の部 : 1998（平成10）年以前生まれ

※団体戦の年齢区分は、チーム内の最年長選手の年齢により決定する。

例

選手 A：19 歳 選手 B～D：12 歳 …19 歳以上の部
選手 A、B：9 歳 選手 C、D：7 歳 …8-10 歳の部

ただし、個人戦総合の人数が 4 人（団体戦は団体戦総合のチームが 3 チーム）に達しなかった部門は、その部門をなくし、次のように部門を統合して競技を行う。

- ① 7 歳以下の部が 4 人（団体戦は 3 チーム）に達しない場合は、8-10 歳の部と合わせて、10 歳以下の部として競技を行う。
- ② 8-10 歳の部が 4 人（団体戦は 3 チーム）に達しない場合は、11-13 歳の部と合わせて、8-13 歳の部として競技を行う。
- ③ 11-13 歳の部が 4 人（団体戦は 3 チーム）に達しない場合は、②と同様に 8-10 歳の部と合わせて、8-13 歳の部として競技を行う。
- ④ 14-18 歳の部が 4 人（団体戦は 3 チーム）に達しない場合は、19 歳以上の部と合わせて、14 歳以上の部として競技を行う。
- ⑤ 19 歳以上の部が 4 人（団体戦は 3 チーム）に達しない場合、④と同様に 14-18 歳の部と合わせて、14 歳以上の部として競技を行う。
- ⑥ 参加人数（チーム数）によっては、3 つ以上の部門を統合する場合もある。
- ⑦ 個人戦で、必要に応じて男女の統合も検討

6 団体戦のチーム構成

団体戦に参加する選手は、3～5 人でチームを組み出場することができる。ただし、1 人の選手が 2 つ以上のチームに重複して所属し、団体戦の種目に参加することはできない。

世界選手権の選考を希望するチームは、4～5 人でチームを組み、年齢区分を考慮しなければならない（詳細は「11 世界ロープスキッピング選手権大会の日本代表選手選考」参照）。

7 競技種目

本大会では以下の個人戦（シングルロープ）5 種目、団体戦 6 種目を開催する。各種目および総合で 1～3 位を表彰する。ただし、個人戦の三重とびについては、10 歳以下の部では行わない。参加は 1 種目から可能である。

<個人戦>

- ① 30 秒スピード（かけ足とび）
- ② 3 分スピード（かけ足とび）
- ③ フリースタイル
- ④ 30 秒スピード（二重とび）
- ⑤ 三重とび（10 歳以下の部では行わない）
- ⑥ 個人総合（上記①～③の総合順位、順位の計算方法は「9 総合順位計算方法」参照）

<団体戦>

- ① シングルロープスピードリレー（4 人）
- ② ダブルダッチスピードリレー（4 人）
- ③ シングルロープチームフリースタイル（4 人）
- ④ ダブルダッチシングルフリースタイル（3 人）
- ⑤ ダブルダッチ 30 秒シングルスピード（3 人）
- ⑥ ダブルダッチ 30 秒ダブルスピード（4 人）
- ⑦ 団体総合（上記①～④の総合順位、順位の計算方法は「9 総合順位計算方法」参照）

8 定員

- <個人戦> 各種目 120 名
- <団体戦> 計測種目 32 チーム
フリースタイル 20 チーム

※定員になり次第締め切る。ただし、個人戦と団体戦の総数をみて、これより多く受け入れる可能性有。

9 総合順位計算方法

<個人戦>

個人戦の総合順位は、30 秒スピード（かけ足とび）の順位、3 分スピード（かけ足とび）の順位、フリースタイルの順位×2 の合計が小さい選手が上位となるように決定する。順位の合計が同点の場合は、総合得点（以下参照）の高い選手が上位となるように決定する。順位の合計および総合得点が同点の場合は同順位とする。

$$(\text{総合得点}) = (\text{30 秒スピード (かけ足とび) の回数} \times 5) + (\text{3 分スピード (かけ足とび) の回数}) + (\text{フリースタイルの D+C 得点}) \times 2$$

※フリースタイルの D ランク、D 得点、C ランクおよび C 得点については、JRSF ホームページのフリースタイル ルールブック（9 月末頃公開予定）を参照。

<団体戦>

団体戦の総合順位は、シングルロープスピードリレーの順位およびダブルダッチスピードリレーの順位、シングルロープチームフリースタイルの順位、ダブルダッチシングルフリースタイルの順位の合計が小さいチームが上位となるように決定する。

順位の合計が同点の場合、総合得点（以下参照）の高いチームが上位となるように決定する。順位の合計および総合得点が同点の場合は同順位とする。

$$(\text{総合得点}) = (\text{シングルロープスピードリレーの回数}) + (\text{ダブルダッチスピードリレーの回数}) + (\text{シングルロープチームフリースタイルの D+C 得点}) + (\text{ダブルダッチシングルフリースタイルの D+C 得点})$$

例

<個人戦>

選手	30 秒スピード			3 分スピード			フリースタイル				個人総合		
	回数	得点	順位	回数	得点	順位	D 得点/ D ランク	C 得点/ C ランク	D+C 得点/ D+C ランク	順位	順位の 合計	最終 順位	総合 得点
A	97	485	2	490	490	2	248/1	240/1	488/2	1	6	1	1951
B	99	495	1	500	500	1	180/4	210/3	390/7	4	10	2	1775
C	80	400	3	465	465	3	200/3	200/4	400/7	3	12	3	1665
D	79	395	4	380	380	5	220/2	225/2	445/4	2	13	4	1665
E	70	350	6	380	380	5	175/5	180/5	355/10	5	21	5	1440
F	75	375	5	400	400	4	160/6	160/6	320/12	6	21	6	1415

10 参加資格

小学生以上であること。

平成 29 年度日本ロープスキッピング連盟正会員、非会員とも、全種目に参加することができる。ただし、世界選手権の選考を希望する選手は、会員登録をしておかなければならない。

※会員登録については JRSF ホームページ「会員登録」（http://www.jrsf.jp/?page_id=44）を参照。

11 世界ロープスキッピング選手権大会の日本代表選手選考

第12回世界ロープスキッピング選手権大会は、2018（平成30）年に開催予定である（開催時期7月末から8月初旬、開催地は中国 上海）。部門は Junior World Championships 12-14歳の部（以下JWC、2004～2006年生まれ）、International Open Tournament 15歳以上の部（以下IOT、2003年以前生まれ）および World Championships 15歳以上の部（以下WC、2003年以前生まれ）である。世界選手権に合わせて、全日本選手権の順位表とは別に選考用の順位表を作成し、それを参考にして日本代表選手を選考する。

なお、WCの個人総合および種目別の選考にもれた選手の中から総合順位上位3名、種目別1名については、IOTへの選考対象とする。ただし、WC個人戦とIOT個人戦の両方への参加は認められていない。

<個人戦総合順位による選考>

WCとJWC選考用の総合順位表と種目別順位表を作成し、上位から順に、男女それぞれ3名を総合、WCでは2名を、JWCでは1名を種目別として世界選手権の個人戦日本代表選手として選考する。

- ① 30秒スピード（かけ足とび）
 - ② 3分スピード（かけ足とび）
 - ③ フリースタイル
- ※三重とび

※三重とびに関しては総合順位に含まない。全日本選手権での14歳以上の部（2003年以前生まれ）の上位2名を選考対象とする。世界大会では2004年以降生まれの部の三重とびの競技は無し。

※種目別の2名（JWCでは1名）には、全日本選手権において上記①～③のうちの1種目のみ、あるいは2種目のみ出場の選手も選考の対象とする。

<団体戦選考>

この選考を希望するチームは、以下の4種目全てに参加しなければならない。

- ① シングルロープスピードリレー
- ② ダブルダッチスピードリレー
- ③ シングルロープチームフリースタイル
- ④ ダブルダッチシングルフリースタイル

※世界大会選考希望の男女混合チームは、①～④のすべての種目で、男女それぞれ少なくともひとり出場しなくてはならない。（男女混合チームで、①～④の種目で男子のみ、あるいは女子のみで出場した場合、世界大会の選考からはずれる。）

● 年齢

JWC(12-14歳の部)に出場する場合、チームの選手全員の年齢が2018（平成30）年末時点で12～14歳でなければならない。15歳以上の部のうちWCに出場する場合、チームの選手全員の年齢が2018（平成30）年末時点で15歳以上でなければならない。IOTに出場する場合、チームの選手のうち少なくとも1名の年齢が2018（平成30）年末時点で15歳以上でなければならない。また、チームは4～5名の選手で構成しなければならない。

※第12回世界ロープスキッピング選手権大会ルールブックに準拠。

全日本選手権から世界選手権参加時においてチームの選手を変更する場合は、4名のチームの場合は1名、5名のチームの場合は2名の変更まで認められる。4名チームから1名加わり5名チームとなることも認める。ただし、変更・追加される選手も13JC出場選手であること。



チームの性別（男子・女子・男女混合）が変更される選手変更は認められない。
（例：男子チームで選考後、選手 1 名が女子選手と変更され、男女混合チームとなる、というのは不可）

- **注意点**

中学生以下（世界大会出場時）の選手は原則、保護者の付き添いが必要。
ただし、保護者（両親）の許可があれば、両親の代わりに先生やコーチ等が引率することも認める。
その場合の保護者代理人は、大会開始時に 18 歳以上であること。
※第 2 版・2017 年 10 月 4 日版（内容は修正・更新される場合があります。）